



吉敷の木
「もみじ」



吉敷の花木
「うめ」



吉敷の草花
「マリーゴールド」



吉敷の草花
「サルビア」



2022

3

No. 792



お雛様やさげもんで春爛漫!
安永さん(中尾東下)のお宅にて



優良公民館表彰と公民館報会長賞
受賞を市長に報告



井町莉子さんの標語が新しい懸垂幕に!
地区人権学習推進協議会

CONTENTS

インフォメーション..... 2

【トピックス①】

文部科学大臣の優良公民館
表彰を受賞

吉敷地域交流センター..... 3

【トピックス②】

吉敷地域と企業とで
新たな取り組みをキックオフ!..... 3

【トピックス③】

人権学習推進啓発作品の
優秀賞受賞者が決定しました..... 4,5

読者発なんでも広場..... 5

レポート..... 6

健康レシピ..... 7

リレーエッセイ..... 7

イベントカレンダー..... 8

かけはし..... 8

よしき人



YOSHIKI
DATA

【人口】14,705

【世帯数】6,298

令和4年2月1日現在

イ・ン・フ・ォ・メ・ー・ン

行事等につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点などから中止または延期となる場合がありますので、予めご了承ください。

行事等中止・延期のお知らせ

■吉敷地区大運動会【中止】

新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み、4月17日(日)に開催を予定していた「吉敷地区大運動会」は中止することとしました。

今後、地域の皆さまに安心してご参加いただける状況となれば、年度内の開催の可能性も含め検討していく予定です。

問い合わせ 吉敷地区大運動会実行委員会
☎083-922-13344



「表紙の人口・世帯数について」

今月から、令和2年度に実施された国勢調査の数値を基礎とした推計人口を掲載します。

育児相談

お子様の身体測定や、育児・離乳食に関することなど、保健師と栄養士が相談をお受けします。お友達づくりを兼ねて気軽にお越しください。

とき 3月9日(水) 13時30分～14時30分
(受付時間)

場所 地域交流センター 和室

申込 不要

準備 母子健康手帳

問い合わせ 子育て保健課

☎083-921-7085

古文書輪読会

「古文書輪読会」は、古文書の自主研究グループです。会員は現在8名で、毎月一回集まって、分からないところを教え合いながら古文書の解説を行っています。

とき 毎月第4月曜日19時～20時30分

場所 地域交流センター 地域活動室

講師 山田 稔氏

内容 長州藩の行程記を読みます。

会費 500円(テキスト代)

申込・問い合わせ 文化振興協議会

☎083-922-13344



吉敷パソコン教室

やっぱりパソコンは難しい！そんな初心者の方でも大歓迎です。年度途中の参加も可能です。

とき 毎週木曜日10時～12時

場所 地域交流センター 視聴覚室

申込 不要

※参加費は無料ですが、テキストを各自で購入していただく場合があります。

問い合わせ 地域交流センター

☎083-922-13915

手編の会

自分の手で、お気に入りの、世界にひとつだけのセーターやマフラーなどを編んでみませんか。

興味のある方は、見学においでください。

とき 毎月第2、第4金曜日13時30分～15時30分

場所 地域交流センター 会議室

問い合わせ 中園ひとみ

☎083-924-9519

地域交流センター新刊図書案内

・おわかれはモーツァルト

(中山 七里)

・月夜の森の泉

(小池 真理子)

・ねこがいる

(たなか ひかる)

学校施設定期利用団体

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの1年間を通して、学校施設を定期的に利用される団体を募集します。

【対象施設】

- ・良城小学校体育館
- ・良城小学校グラウンド
- ・鴻南中学校体育館
- ・鴻南中学校の夜間照明を使用しているグラウンド(ナイター)

【応募資格(要約)】

- ・吉敷地域内に在住する者が10名以上で構成されたスポーツ団体であること(鴻南中学校は大蔵地域在住者も可)。
- ・地域で開催される行事に積極的に協力できること。

※学校行事やその他地域行事等の都合により使用できない日があります。

申込書類 地域交流センターに設置

申込方法 所定の申込書に記入し、団体の構成員名簿等を添付のうえ、地域交流センターへ提出してください。

【申込期間】

3月1日(火)～3月11日(金)

【利用調整会議】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度は会議の開催を見合わせ、個別に調整を行います。

【申込・問い合わせ】

地域交流センター

☎083-922-13915



文部科学大臣の優良公民館表彰を受賞 吉敷地域交流センター

文部科学省では、公民館や公民館と同等の社会教育活動を行う施設のうち、事業内容や方法等に工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献している施設を優良公民館として、毎年度文部科学大臣表彰を行っています。

本年度、吉敷地域交流センターが優良公民館として表彰されました。

山口市が進める

協働によるまちづくり

山口市では、平成21年度の「山口市協働のまちづくり条例」の施行を契機に、市内の「公民館」が「地域交流センター」に改められました。

また、市内の各地域交流センターにそれぞれ「地域づくり協議会」が設置され、住民が主体となつて、まちづくりを進めることになりました。

住民による安全で安心な

住みよいまちづくり

吉敷では、平成22年度に地域づくり協議会が設置されました。

地域交流センターにおいて、地域づくり協議会を中心に、会員である各種の団体が、安全で安心な住みよいまちづくりに取り組んでいます。

社会教育活動を含めた 幅広い活動

吉敷での活動は、住民によるまちづくりを目的としており、地域福祉、交通安全防犯対策、環境、文化振興など活動の内容が社会教育活動を含めて多岐にわたっています。

また、かつて公民館が開催していた大運動会や夏まつり・ふるさとまつりなどの行事も地域住民が主体となつて開催しています。

受賞を励みとし

一層の地域づくり活動を推進

今回の表彰は、社会教育活動を始めるとする地域活動に、住民が主体的に関わっていることが評価されたのではないかと思います。

今回の受賞を励みとし、住民による地域づくり活動の一層の推進を図っていくことにしています。



吉敷地域と企業とで 新たな取り組みをキックオフ！

レノファ山口と聞けば、皆さんサッカーチームとして想像されると思いますが、実はそれだけでなく、パートナー企業や大学などの様々な団体と連携したまちづくり活動もされています。

この度、吉敷地域は、レノファ山口とつながるパートナー企業と連携して、アイデアを出し合い、それぞれの強みを生かした新たなまちづくりに挑戦することになります。

これは、地域のさらなる活性化、様々な課題解決のための新たな取り組みです。その名も、「レノファ山口吉敷みらい会議」。

新しいまちづくりのモデルに

市スマートシティ推進室が進める、レノファ山口の有するネットワークを活用し、企業や大学などの様々な団体と連携して地域課題の解決を図る取組のモデル地域として、レノファ山口のホームグラウンドがある吉敷地域にお声掛けがありました。

この会議では、地域の課題に地域だけで取り組むのではなく、吉敷地域の活性化につながるアイデアを様々な団体と一緒に考え、持続可能な新しいまちづくりのモデルを検証することを目的としています。

ついにキックオフ

1月21日(金)、レノファ山口、企業、山口市、そして吉敷地域からは若者交流事業やおまつりに関わっている現役世代が集まり、キックオフ会議を開催しました。

当面の目標「2、3月の小イベント」の具体的な計画案に向かい、それぞれの持つ資源(素材)を確認しながら、それを活かすことのできるアイデアを出し合いました。

会議が終わる頃には、取り組んでみたい、実現できそうな企画が形になりつつありました。

地域課題である「人材発掘」の 取り組みとして

イベントはコロナの感染状況を見ながらの開催となりますが、これから地域と様々な団体とでどんな化学反応が現れるか楽しみです。

吉敷地域としては、イベント開催だけが目標ではなく、その過程で地域の人材を発掘し、多くの人を巻き込んで地域づくりを進めていく気運が高まることを期待しています。

今後もこの取り組みの中で、「楽しみながら」吉敷のまちづくりについての対話を続けていきます。

人権学習推進啓発作品の 優秀賞受賞者が決定しました

吉敷地区人権学習推進協議会では、毎年、小・中学校から人権学習推進啓発をテーマにした作文やポスター、標語の作品を募集し、その中で特に優秀な作品について、表彰を行っています。

今年度も多くの児童・生徒に取り組んでいただき、特に優秀な作品が優秀賞として決定しました。学校の授業等を通して人権の大切さを学んだ子どもたちの作品は、どれもその思いが強く表現されています。

今年度もやむなく中止

地区人権学習推進大会

地域の皆さんに身近にある様々な人権問題について考えていただくため、当協議会が中心となり毎年2月に地区人権学習推進大会を開催しています。

この大会は、良城小児童、鴻南中生徒による作文の朗読をはじめとした作品の発表、および表彰の場でもありました。

しかし、今年度はコロナ禍のため、昨年度に引き続き開催中止といたしました。寄せられた作品には表彰状を贈呈し、大会の代わりに、各学校での表彰式を開催していただくこととなりました。

優秀標語の懸垂幕作成

人権啓発の一環として、地域交流センター正面に通年掲示している懸垂幕。今年は、良城小5年の井町莉子さんの標語が選ばれました。

人権をより身近な課題に 啓発を推進していきます

人権というと、遠いもの、自分には関係のないものと思われがちですが、普段の日常生活の中や、周囲の人との些細なコミュニケーションの中にもその必要性があり、決して遠い存在のものではありません。

近年、人権を取り巻く環境は多種多様化しています。日頃から、一人

ひとりが様々な問題に対し、正しい理解と認識を持ち、相手の気持ちを考えて行動することが大切です。

こうしたことを地域において発信し、より身近なことから人権意識を高めていきたいと考えています。

今後も学校等と連携しながら、思いやりのある心を育む人権学習の推進に取り組んでいきます。

(地区人権学習推進協議会)

良城小学校児童 優秀賞受賞者（敬称略）

《作文の部》

堀内 結南（4年）「不自由な人や高齢者の苦労は」

塩田 悠真（5年）「障害者と差別」

山本 裕子（6年）「人を大切に」

《標語の部》

乗安 湊斗（5年）

「守りたい 吉敷の笑顔 叶えたい 皆の未来」

高橋 美乃璃（5年）

「大丈夫 仲間があふれる 吉敷地区」

大野 莉奈（5年）

「ありがとう 吉敷に広がる ぽかぽか言葉」

上山 結生（5年）

「思いやり その行動で 蛍のように 笑顔輝く」

山本 旭（5年）

「笑おうよ 仲間とともに 笑顔の輪」

井町 莉子（5年）

「支え合い 笑顔広がる 吉敷の輪」

《ポスターの部》



仲山 まどか（6年）



佐鳥 太一（6年）



三原 友佳（6年）



山田 祐輔（6年）

鴻南中学校生徒 優秀賞受賞者（敬称略）

《作文の部》

吉富 優里（1年）「SNS時代において私達にできること」
 小林 愛実（2年）「52ヘルツの声が届く世界へ」
 香川 真子（3年）「今の私にできること」

《標語の部》

大石 一予（3年）
 「パレットに 人の数ほど 色がある」

藤本 咲来（3年）
 「離れていても心は密 マスクの下に笑顔あり」

弘中 葵（2年）
 「マスクでも 笑顔あふれる あいさつを」

櫻井 優奈（1年）
 「ありがとう 私の町の あい言葉」



下川原 那美（2年）



年藤 優花（2年）



池田 千祥（2年）



塚本 逢花（2年）



内藤 望結（2年）



福田 海音（1年）

読者発

なんでも広場

実家の物置を整理したところ、大正6年（1917年）3月10日付けの、吉敷村役場から下東区長宛のガリ版刷りの文書が出てきました。タイトルに「寄付勧誘方の件」とあり、さらに読み進むと、寄付先として、①連合国傷病兵への慰問金、②軍艦「長門」への寄付金、とありました。

①連合国傷病兵への慰問金

大正6年と言えば、まだ第一次世界大戦中です。当時、日本も連合国の一員として参戦して、ドイツ租借地の青島などを米国とともに攻略し、また日本海軍は、駆逐艦隊を地中海のマルタ島に送ってここを拠点に、連合軍の輸送船団の護衛にあたっていました。日本の官民の間に、連合国の傷病兵への慰問をしようという機運があり、この吉敷村でも同様の呼びかけとなったのでしよう。

②軍艦「長門」への寄付金

軍艦「長門」とは、当時広島県呉

で建造中であつた戦艦です。竣工時では日本海軍で、そして世界でも最大のものでした。

山口県の土地名（旧長門国）から命名されたので、長門への記念品を献納するための寄付を集めるための募金活動の趣旨が書かれており、多分、当時山口県下で同様の募金活動がなされ、吉敷村役場でも下東区長へ依頼がなされたものだと思います。



見つかった資料

当時の官民の連合国将兵や海軍への慰問活動、そして山口県民の「長門」に対する思いを知る資料だと思いましたが、広島県呉市の海事歴史科学館学芸課に連絡を取ったところ、珍しい資料なので収蔵したいとのことだったので、寄贈しました。現在は、呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）に保管されています。

小田 毅（下東）

レポート

焼きイモ焼けた！子ども会

1月23日(日)、4月から小学校に入
学する子を対象に、初めての焼きイモ
大会を開催し、12名の参加申し込みが
ありました。小学4～6年生の子ども
会議メンバーが秋から話し合い、テス
トも行って実現した企画です。



全員でのじゃんけんゲームの後はい
よいよ焚き火に着火！自分でサツマイ
モを新聞紙とアルミ箔でくるんで焚き
火に。焼けるのを待つ間に、小学校ク
イズなどのゲームを楽しみました。子
どもたちにはお兄ちゃん、お姉ちゃん
と遊ぶ楽しさが、保護者には、自ら生
き生きお世話する上級生のたくましさ
が伝わったのではないだろうか。

4月から、ぜひ一緒に活動しましょうね。



「楽楽楽」季節のお楽しみ♪

1月26日(水)、つどいの広場楽楽楽
で、本城節子氏を講師に、味噌づくり
の講座が行われました。感染対策のた
め、一家族一テーブルで体験しました。
麹と塩を混ぜる工程や、茹でた大豆
を潰す工程は、お子さんが楽しそうに
お手伝いしてくれました。
作った味噌はご家庭に持ち帰っても
らい3か月程で食べ頃です。美味し
い味噌になりますように★



1月28日(金)には、未就園児を対象
に節分遊びをしました。鬼のかぶりも
のと腰ミノを親子で工作。完成したら
みんなで可愛い鬼に変身しました！
そこに、赤鬼・青鬼が登場!!泣いて
逃げる、勇敢に豆を投げる、鬼と記念
撮影など様々な表情。福の神がやって
きて鬼を追いかうと、笑顔が戻りまし
た。心の中の小さな鬼、みんなやつつ
けられたかな？



可愛い鬼がたくさん！

1月29日(土)、地域交流センターで
「節分 de Y」を開催しました。
参加者は小学生9名。吉敷美術部の
皆さんを講師に、世界に一つだけの鬼
のお面作りをしました。
お面が完成したら、折り紙で鬼を折
るのにも挑戦しましたよ！
色とりどり、可愛い鬼がたくさんで
きました。今年もたくさんの福が来そ
うですね！



着物を着てお花見に

2月5日(土)、地域交流センターで、
「春までに習得し着物教室」を開催しま
した。田中美代子さん(下東)を講師
に着物の着付けを学び、春のお花見
シーズンまでに習得しようという計5
回の継続講座です。
2回目のこの日も、講師に習いお互
いを確認し合いながら練習しました。



山口県老人クラブ連合会表彰

令和3年10月27日(水)、佐畑の升
田豊さんが、山口県老人クラブ連合会
より表彰されました。

これを吉敷地域でお祝いしようと2
月3日(木)に表彰式を行いました。
これからも元気で活躍ください。



公民館表彰表彰式

2月4日(金)、優良公民館表彰式
がオンラインで行われました。式には、
地域づくり協議会役員と地域交流セン
ター所長が出席し表彰を受けました。





吉敷地区食生活改善推進員監修

健康レシピ

RECIPE 18

豆腐とエビの蒸し物

あんにお酢やごま油を入れることで
風味をアップさせています。

豆腐は手に入りやすい食材です。

蒸し物は敬遠されがちですが、

電子レンジを使うと簡単に美味しい蒸し物ができます。



材料

【2人分】

■ 木綿豆腐	2/3丁 (220g)
■ 干しいたけ	1ヶ (4g)
■ むきエビ	40g
■ みつ葉	1/2束 (10g)
■ 塩	小さじ1/8
■ 酒	小さじ1
■ 卵	1/2ヶ (25g)
■ 片栗粉	小さじ1
① 水	大さじ4
■ しょうゆ	小さじ2
■ 片栗粉	小さじ1
■ 酢	小さじ1
■ 砂糖	小さじ1
■ ごま油	小さじ1/4

作り方

- 1 豆腐はよく水切りする。干しいたけは、水で戻してみじん切り。むきエビはぶつ切りにしておく。
みつ葉は3cmの長さに切る。
- 2 干しいたけ、むきエビに塩、酒、溶いた卵を合わせてよく混ぜ、片栗粉をまぶした豆腐の上にのせ、ラップをして電子レンジで5分～8分加熱する。
- 3 ②に煮立てた①のたれをかけて、仕上げにみつ葉をのせる。

【1人分】エネルギー164kcal 蛋白質13.8g 脂質3.1g
カルシウム78.2g 食塩相当量1.3g

リレーエッセイ

Relay Essay

022

やましろ ともこ
山城 智子さん (中村)



私にとっての至福の時間はスマートフォンのサブスクリプション(定額制音楽配信)で音楽を聴くこと。時間を見つけては音楽を聴く。気づけば夜中3時…例え寝不足になっても、私にとってとても大切な時間です。

最近6歳の息子が戦前～戦後にかけて活躍した歌手・笠置シズ子の『買物ブギー』を聞いて「面白い!」と言って口ずさみます。70年以上前の歌は令和の子供の心も打つようです。美空ひばり等がカバーした『東京ブギウギ』も彼女の代表曲です。

戦前戦後の日本音楽について大学で研究したことがあり、作曲家・服部良一を中心に作られた当時の楽曲は私の大学時代の思い出です。日本のポップスの先駆けとなった彼の楽曲を聴きながら論文を書き、当時に思いを馳せていました。

戦前～戦後日本は激動の時代。戦中の日本ではジャズなどの外国音楽やその影響を受けた楽曲は敵

性音楽として排除され、その反動か戦後はブギウギなどの明るい曲が人々を楽しませました。暗い世の中の状況に反して、明るく前向きに生きよう!という当時の日本人の自らを鼓舞する気持ちが大きかったのでしょうか。

現在もコロナ禍という大変な時代になり、心が折れそうなきががあります。そんなとき皆さんはどのように心の栄養を補給していますか?その方法のひとつが「音楽」である人も多いのではないのでしょうか。音楽からパワーをもらおう…昔も今も変わらないところです。音楽は聴いていた当時の自分に一瞬で戻れます。“昔”の自分に思いを馳せてみるのも楽しい時間ですよ。

今は自由に色々な国の音楽を、いつでも誰でも好きな時に聴ける時代になって良かったです。これからも素敵な音楽が、いつまでも語り継がれ、人々の心の支えになりますように。



「楽楽楽」で活動中!



1火		
2水	●広報委員会 17:00～	
3木	●町内会長会 18:30～	
4金		
5土	●吉敷地区社協講演会 10:00～12:00	
6日	●吉敷ベタンク交流大会 8:30～	
7月	●あいさつの日	
8火		
9水	●育児相談 13:30～14:30(受付時間) P.2	
10木	●ぜったい役立つ!防災力UP講座 10:00～12:00 ●鴻南中学校卒業式 9:30～	
11金		
12土	●レノファ山口 VS FC琉球 14:00～(みらスタ)	
13日		
14月	●吉敷ベタンク同好会練習 9:00～	
15火		
16水	●吉敷幼稚園卒園式 10:00～ ●学校施設開放利用調整会議 19:00～ P.2	
17木		
18金	●良城小学校卒業式 9:30～	

19土	●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 9:30～12:00 ●大内氏の歴史講演会 10:00～11:30	
20日	●多世代交流グラウンドゴルフ大会 10:00～12:00	
21祝		
22火		
23水		
24木	●おおとり保育園卒園式 10:00～	
25金		
26土		
27日		
28月	●吉敷ベタンク同好会練習 9:00～ ●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 10:00～15:00	
29火		
30水	●レノファ山口 VS 徳島ヴォルティス 19:00～(みらスタ)	
31木		

4月のおもなイベント

5火	おおとり保育園入園式
8金	鴻南中学校入学式
11月	良城小学校入学式
12火	吉敷幼稚園入園式

「団塊の世代と吉敷」

昭和51年に、当時、通商産業省に勤めていた作家の堺屋太一が「団塊の世代」という小説を発表し、話題になりました。

団塊の世代は、昭和22年から24年までの3年間で生まれた人を指しています。

毎年270万人前後の出生があり、その間に生まれた人は第一次ベビーブーム世代と呼ばれています。

この小説は、こうした団塊の世代の将来を予測した近未来の小説で、昭和24年生まれの私にとっては、とても興味深い小説でした。

団塊の世代の特徴として、受験や就職活動、出世などで、常に激しい競争を余儀なくされており、競争意識が強かったことがあげられています。

私自身は県庁勤務だったため、そうした意識はなかったのですが、産業界で活躍された方のような競争力が高度経済成長をもたらしたのではないかなと思っています。

また、人口が突出していた団塊の世代は、恋愛結婚が多く、その家族はニューファミリーと呼ばれ、その急増が郊外のニュータウンの建設に拍車をかけたといわれています。

まさに、吉敷地域を物語っており、今日では、こうした団塊の世代の人達が、吉敷の地域づくりに重要な役割を担っています。

広報委員 横山健二

[発行・編集]

吉敷地区広報委員会(〒753-0816 山口市吉敷佐畑一丁目4番1号)
☎083-922-3915 吉敷地域交流センター(地域担当)
☎083-922-0668 吉敷地域交流センター(行政窓口担当)
☎083-922-3344 地域づくり協議会・吉敷自治会・地区社協

吉敷地区地域づくり協議会ウェブサイト・フェイスブック
<https://www.yoshikibito.com/>

吉敷地区地域づくり協議会

検索

